

レンガ片を缶の中でシェイク

第5学年の指導内容に「流水の働き」があります。この活動は、児童に、河原の石が丸みのある形になる理由を、流水の働きと関係付けながら考えさせることができるものです。

材料と準備物

材料

- レンガ片、またはレンガブロック

準備物

- 上がふたになっている缶2つ
(概ね同じ大きさのものがよい)
- 水



実験の手順

- ①二つの缶それぞれの中に、容積の1/4程度、同量のレンガ片を入れます。
- ②一方の缶のみに水を入れて、二つを5～10分程度振ります。
(時間は、レンガ片の堅さによって異なります。予備実験をして、時間を決めましょう)
- ③缶の中からレンガ片を取りだして、双方の形を比較しましょう。



水を入れた缶の中のレンガは、角が取れ、丸みを帯びた形になることが、短時間で観察できます。

備考

レンガ片、またはレンガブロックは、ホームセンターに、いろいろな種類のものがあります。柔らかいものだと、速く結果が得られます。硬いものだと、結果が出るまでに時間はかかりますが、その分、感動は大きくなります。用途にあわせて、いろいろ工夫してみてください。

参考資料提供

滋賀大学教育学部附属中学校 澤田一彦 先生